

～「教師」になった卒業生たち～

毎年6月、優秀な卒業生たちが母校に帰ってきます。教職を志す卒業生（短大2年生、大学4年生、大学院2年生、社会人）が思い出の詰まった母校の教壇に立ち、今度は「教師」として後輩たちに学ぶ楽しさを伝えます。

今年の実習生20名は、実習で各教科の研究授業を実施。放課後は部活動の練習にも参加して後輩たちの指導にあたりました。また夜遅くまで熱心に教材研究や授業案の作成にあたり、研究授業ではそれぞれ立派な授業を展開しました。実習生は母校で教師の卵として過ごす中で、教職という仕事の魅力を確認したようです。クラスの最後のホームルームでは、生徒たちから花束や寄せ書きをもらい、感動のひと時を過ごしました。実習生はたくさんの経験を積み重ね、さまざまなことを実践から学んでいったようです。

